

JA だより



—自然のめぐもりと暮らしたくて—



謹賀新年



新年を迎えて

しずない農業協同組合 代表理事組合長 片岡 博



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

組合員の皆様には、御家族ともどもご健勝で新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。日頃より当組合の事業運営に対し、ご協力とご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年はロシア連邦が2月24日に開始したウクライナへの軍事侵攻により各先進国による対ロシア制裁措置がロシアのエネルギー供給を制約したことでエネルギー価格が高騰し、それを受けて米連邦準備制度理事会（FRB）が急速な政策金利の利上げを実施していることでドル高が進み、急速な物価

高が進んでおります。

この物価高は各組合員の経営にとって重大な問題であり、燃料、肥料、配合飼料など海外輸入に頼っているものが多く、大きな打撃を受けております。

当組合の基幹作物の1つである黒毛和牛においては、ホクレン北海道市場の素牛平均購買価格は去勢で77万円、メスで65万円と、昨年比較で6万円程度の安値で推移しており、当組合の年間の販売金額は5億7千万円程度と前年の6億5千万円程度より8千万円減少していることから、配合飼料などの高騰から肥育生産者の経営が厳しい状況が伺えます。今後とも購買者のニーズに答え、より良い素牛を出荷できるよう高齢牛の淘汰更新を積極的に進め、優良母系牛群の形成を進めてまいります。また、酪農については黒毛和牛以上に配合飼料の給与量が多く、生乳を保管するバルククーラーの電気代もかかり、そこに牛乳、乳

製品の消費の落ち込みから北海道農協酪農・畜産対策本部委員会より生乳の生産を抑える方針を取られていることから、農家経営により大きな打撃を与えております。

また、ホルスタイン初生価格につきましてもホクレン市場の市場平均価格は10万円程度で推移していましたが、7月より暴落し一時期は1万円を切る価格となっており、要因としましては配合飼料などの高騰が挙げられますが、黒毛和牛肥育と比較しホルスタイン肥育のほうが利益率が低いため、飼料高騰の影響をより強く受けているのではないかと推察されます。

牧草については収穫期に曇天が続き、良質牧草の収穫がなかなかできない状況が続きましたが、一昨年のような猛暑が無かったことから、乳量は堅調に推移しており、販売金額は3億3千万円の取扱実績でした。

昨年の農作物の状況としまして、水稲は日高管内は105の「良」でありました。6月から8月にかけて曇天が続き収量こそ平年並みでしたが、品質の面ではのタンパク質も含め高品質な米を収穫することが出来ました。また、純米吟

醸酒「海桜丸」につきましては、上川大雪酒造 碧雲蔵で仕込みを行ってから3年目を迎え、酒米の原料の質の高さを川端総杜氏から認められ「川端総杜氏が奏でる原材料のシンフォニー響」6選に「静内彗星」が選ばれ、350口限定上川大雪酒造オンラインショップで限定販売されることが決定されており、Aコープしずない店、地酒のときわ、新ひだか観光協会で販売を致します。川端総杜氏の目指す「飲まざる酒」に仕上がっておりますので飲んで頂きたいと思っております。

ミニトマトの促成栽培については6月が特に気温が上がらず着色が進まないため出荷量が少なく、その後も湿度の高い日が続いたため裂果が多く発生しました。抑制栽培への切り替えの8月頃も朝晩の気温が低く着果不良が見受けられ、その後においても天候不順により病害等が発生し、収量が思ったほど伸びない状況でありました。また、燃料価格の高騰から加温で栽培するにあたって見合った収益を上げることが難いため、11月末で出荷が終了となっております。取扱金額は8億4千万円となり、

青果全体では9億2千万円となりました。

本年も2組の新規就農者の参入が予定されており、ミニトマト部会が目標として掲げる10億円を目指して参ります。

基幹産業である軽種馬については、昨年の市場販売頭数及び販売金額が、481頭、62億1千万円で昨年より43頭、14億4千万円の増加となり、平均販売価格は202万円増加の1291万円となりました。北海道市場では、新型コロナウイルス感染症対策を行い、例年同様開催することが出来、総売上は過去最高の150億円を超える結果であり、活気に満ち溢れる一年となりました。

また、昨年の重賞レースでは5月1日、阪神競馬場で開催された「天皇賞・春」、6月26日、同じく阪神競馬場で開催された「宝塚記念」で岡田スタッド生産のタイトルホルダー号がG1勝利を挙げました。改めて生産牧場の皆様にお祝い申し上げます。

毎年10月に開催されているしずない農業まつりは、特別栽培米「万馬券」の新米を含む取り纏め販売を行い、多くの町民の方に注目を

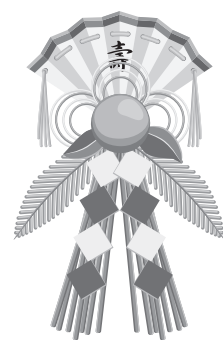
頂きました。また、10月14日には田原資材センターで創業祭を開催し、稲作振興会会員が新米の精米実演販売を行ったところ、とても好評でした。本年はコロナ禍が落ち着き開催出来る環境になることを願うものです。

なお、青年部活動は5月末から7月上旬にかけて、新ひだか町の小学校4校と新たに静内保育所を訪れ、定植体験授業、選果場見学、圃場見学を行い、ミニトマト産地ならではの取組みにより子供たちに学べる環境を作ることができました。

最後に、昨年は農業振興5カ年計画を策定してから半ばの3年目というところで当初計画されていた通りの運営が出来ているのか検証を行い、各品目の将来について組織討議を行っております。大変厳しい農業環境の中ではありますが、組合員皆様が力強い農業経営の実現に向け当JAとしましても努力して参りますのでこれまでと変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げます。

本年も皆様をはじめ、ご家族にとりまして実り多い良い年でありますようご祈念申し上げます、新年のご挨拶と致します。

謹んで新年のご祝詞を申し上げます



代表理事組合長

片岡 博

副組合長

西村 和夫

理事

小倉 正信

伊藤 佳幸

谷岡 康成

山口 修二

藤村 英治

理事兼管理部長

大滝 康正

代表監事

渡辺 隆

監事

野表 忍

金融部長

小川 哲哉

営農部長

丹野 潤一

経済部長

樗田 文明

外職員一同



令和5年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会代表理事会長 小野寺 俊幸



新年あけましておめでとうございませう。

組合員の皆様におかれましては、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。

また、組合員・役職員の皆様が一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対しまして、改めて敬意と感謝を申し上げます。

昨年の本道農業につきましては、春先は天候に恵まれ地域によって少雨の影響が見られたものの、その後は順調に推移して

おりました。ただ、6月の降雹、8月の記録的な大雨、9月の台風により、一部地域、作物によっては、生育に大きな影響が出たものがありました。収穫作業は総じて順調に進み、天候の影響を大きく受けた作物を除いては平年作を確保することができました。

しかしながら、新型コロナウイルスと農畜産物の消費は依然として低迷しております。

さらに、国際紛争や急激な円安の進行による飼料・肥料をはじめとした生産資材の高止まりが、農業経営に与える影響は甚大であり、北海道・全国連とも連携し、J Aグループ北海道としてしっかりとその対応を図って参ります。

コロナ禍、国際紛争によって、世界の食料需給事情が一変しました。輸出制限を行い、自国の

食料を確保する各国の動きが活発化し、世界的な人口増加による食料不足問題など食料争奪合戦がすでに始まっています。我が国の食料を安定的にどう確保するのか。今こそ大いに食料安全保障の国民的議論が必要となつていきます。

J Aグループ北海道は、日本の食料基地であるという使命感に立ち、食料の安定生産・安定供給と農畜産物の需要拡大を両輪として引き続き取り組んで参ります。

今年は、第30回J A北海道大会の実践2年度目となります。決議された将来ビジョンである、「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある地域社会』の達成」の実現に向け、様々な課題を解決する必要があります。

農業を取り巻く環境は厳しい状況が続いておりますが、このような状況であるからこそ、協同組合運動の原点に立ち返り、相互扶助の精神に基づき互いに協力し、力を合わせこの難局を

乗り越える必要があります。

また、消費者に対しては、J Aグループが提唱する、自国の国民が消費する食料はできるだけ自国で生産するという「国産国産」に対する理解を求め、消費者の行動変容に結びつけていくことが望まれます。

このためには、組合員、消費者との「対話」が重要となりますので、組合員・役職員が一丸となつてしっかりと取り組んで参りましょう。

結びになりますが、本年は卯年です。卯は穏やかで温厚な性質であることから、「家内安全」、また、その跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。

他にも「植物の成長」という意味もあり、新しいことに挑戦するのに最適な年と言われています。この謂われにあやかり、本年が豊穡の年となること、新型コロナウイルスの1日も早い終息と皆様のご健勝をご祈念申し上げます。

あけましておめでとうございます

日高農業改良普及センター 所長 北島 潤



新年あけましておめでとうございませう。皆様におかれましては、新たな年をご家族と共に健やかに迎えのことと、心よりお慶びを申し上げます。

また、日頃より普及センターの活動に際しまして、深いご理解と温かいご支援を賜り、心より感謝とお礼を申し上げます。

さて、昨年も引き続き新型コロナウイルス感染症の渦中であり、日常活動への負荷や制限を受けつつ各処への影響が続きました。農業分野におきましても、需給動向の不安定さや肥料・資

材・飼料の高騰を抱え苦勞の絶えない一年であったかと思ひます。

そのような中、4月～10月の農耕期間の気象経過を振り返りますと、気温は6月にやや落ち込みましたが通して平年よりもやや高く、積算気温は106%となりました。また日照時間は春耕起や水稲収穫期に晴天が続き、平年比108%となりました。しかし、降水量に関しては6月下旬と8月上旬に集中した降雨があり平年の144%でした。このため排水不良地等では過湿条件が長期にわたり続き、病害虫の蔓延や生育阻害を受けた場面が見受けられました。このことから排水対策を踏まえた基盤整備や土地改良の重要性を改めて認識した年であったかと思ひます。

昨年の各作物の作柄はこのよ

うな気象条件のもと、次のような概況となりました。

水稲では、本田移植後分げつがやや遅れ、穂数が平年を下回りましたが、籾数や登熟が良好に推移し「良」の評価となりました。品質・食味も高い水準にありました。

ミニトマトなど施設野菜類は、高温期の病害多発や樹勢低下等による収量低下が影響し生産計画数量を下回りました。

肉牛につきましては、黒毛和種素牛の出荷頭数は堅調でしたが、販売単価は軟調に推移してまいりました。

軽種馬生産において、サラブレッド競り市の年間売却額総額が過去最高額を記録しました。

また、ホッカイドウ競馬においても、馬券発売額が道営競馬史上の最高額を更新しました。日本中央競馬界においても、日高管内の生産馬が大活躍し、全国ニュースでも数多く取り上げられ、馬産地「日高」の名前が広く伝えられました。

農業を取り巻く情勢は、引き

続き予断を許さない場面が見込まれ、先行きが不確実な状況にあります。このような中、地域で成すべき事は、施策に依りて長期的な戦略検討が必要と存じます。10年後の目指す姿のため「今すべきこと」を見つめ直し、一歩づつ積み上げていく事が肝要かと思ひます。

農業者の皆様の果敢な取り組みと、日高地域の良さを生かした次世代に繋がる農村・地域づくりを、普及センターとして「農業者・地域とともに考える活動」を第一として進めて参ります。

結びに、本年が皆様にとりましてご健勝で豊穡の年となりますようご祈念申し上げ、新年に当たってのご挨拶といたします。



新年を迎えて

J Aしずない女性部 部長 曾我 順子



新年明けましておめでとうございます。組合員、各関係機関の皆様におかれましては日頃より当女性部活動に対し深い御理解とご協力、ご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

本年もまだコロナの影響は止みそうにありませんが、コロナの治療薬も海外、国内とも出来、苦しい状況が少しでも改善されたように思います。「1日でも早く治療薬を開発させたかっただ」と関係者の医師の話を聞いて、思いは必ず実現するのだと強く感じました。

私たち一人一人も症状がなく

ても熱を測ったり、熱のある時は無理をせず休み、栄養（肉、魚、緑黄色野菜、海藻、大豆、油）を取り、十分な睡眠をとること、そしてハンドソープで20秒以上手を洗うこと、マスクをすること、時々窓を開けて空気を入れ替えることを守り、もしなった場合は、すみやかに人々から離れ、治療に専念することをお願い致します。

これからも成ってきたことに恐れ、おびえるだけでなく前向きにとらえていこうと思う日々です。がんばれ！みんな、がんばれ！自分、がんばれ！日本です。

本年も皆様におかれましては心身共に健やかで幸多い年でありませう、心からご祈念し年頭の挨拶とさせていただきます。



新年を迎えて

J Aしずない青年部 部長 菊池 慶



新年明けましておめでとうございます。昨年はコロナ禍の状況も改善の兆しが見受けられるなかで我々青年部の活動としましては、町内の小学校4校と新たに静内保育所を訪問し、定植体験授業を行いました。

静内保育所においてはシンガーソングライターの阿部卓馬さんがサプライズ訪問され、地域一体となったPRを行うことが出来ました。

また、全道の青年部を対象に開催される「動画で発信！ 農の魅力」コンテストでユニーク賞を受賞した当J A青年部で作

成した30秒CMをYouTubeにアップし、より多くの方に農業の魅力を伝えられるよう活動を行っております。

昨年は新たな問題として、ロシア連邦がウクライナに侵攻し、それに端を発した物価の高騰が各農家経営に深刻なダメージを与えております。私自身も新規就農者として営農を行っておりますが、看過できるものではありません。こういったご時世でもあるので、青年部一同、新規就農者の一員としてより一層努力を重ねる所存でありますのでご指導の程、宜しくお願い致します。

最後に組合員の皆様をはじめ、各関係機関の皆様におかれましては、ご耐え忍ぶ1年になろうかと思いますが、豊穣の秋を迎えられるようご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



YouTube

中道雅則さん、新ひだか町産業貢献賞受賞

農業の発展に寄与

新ひだか町と教育委員会は11月3日に令和4年度新ひだか町・新ひだか町教育委員会表彰贈呈式を行い、中道雅則さんが新ひだか町産業貢献賞を受賞いたしました。おめでとうございます。

中道さんは当農協の理事、土地改良区、農業委員会、指導農業士として地域農業の発展に寄与されました。

特に静内におけるミニトマト「太陽の瞳」ブランドの確立に向けて静内ミニトマト部会の会長として平成11年の創設から平成30年まで務め、道内外の市場への表敬訪問をはじめ、指導農業士として各生産者の指導を行いながら自らもより市場価値の高いミニトマトをと試行錯誤を繰り返してきており、今のミニトマト「太陽の瞳」ブランドの地位も中道さんの尽力があつてのものと言つても過言ではありません。今後とも当農協をはじめ多くの面でご指導いただきたく思います。



受賞のお祝いをさせていただきました。

免税事業者のみなさまへ

令和5年10月1日から

インボイス制度が始まります！

現在免税事業者の方も、ご自身の事業実態に合わせて、インボイス発行事業者の登録を受けるかをご検討ください

消費税



インボイス制度(適格請求書等保存方式)とは…

- ▶ 買手は、**仕入れ税額控除**の適用のために、原則として売手から交付を受けた**インボイス**(適格請求書)を**保存する必要**があります
- ▶ 売手は、インボイスを交付するためには、事前にインボイス発行事業者(適格請求書発行事業者)の**登録を受ける**必要があり、登録を受けると、**課税事業者**として**消費税の申告が必要**となります

売手
(インボイス発行事業者)



買手
(課税事業者)



詳細は
JAしずない
営農課まで
TEL 0146-
42-1051





年末・年始業務日程



区 分	12月		1 月								
	30日 (金)	31日 (土)	1日 (日)	2日 (月)	3日 (火)	4日 (水)	5日 (木)	6日 (金)			
下記以外の業 務	平常営業 8:30~17:00	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 休日の車の事故受付は下記までご連絡下さい。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 24時間・365日の安心サポート! </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> JA共済 事故受付センター ジョコは クミアイ 0120-258-931 </div>						平常営業 8:30~17:00			
金融店舗	平常営業 8:30~15:00							平常営業 8:30~15:00			
※ATM 本 所	ATM 8:30~18:00							ATM 8:30~17:00		ATM 8:30~18:00	
※ATM 豊 畑	ATM 8:30~15:00							ATM 8:30~17:00		ATM 8:30~17:00	
A コ ー プ しずない店	営 業 8:30~17:00							営 業 8:30~17:00		平常営業 8:30~18:00	
本所給油所	営 業 7:30~17:00							営 業 8:30~17:00		平常営業 7:30~18:00	
事業所給油所	平常営業 8:30~17:00							平常営業 8:30~17:00		平常営業 8:30~17:00	
日高中部農協 機械センター	休 業 休業 12月30日(金)~1月6日(金) 自動車の事故処理(レッカー搬送)は、24時間受付しております。 TEL 0146-42-7051										

令和5年 地区別懇談会日程表

令和5年地区別懇談会を以下の日程で実施致します。

組合員の皆様には、万障お繰り合わせの上、ご出席いただきますようお願い申し上げます。

月 日	時 間	農 事 組 合 名	会 場
1月24日 (火)	午後5時30分 ~午後8時00分	静内一・駒 場・中野一・中野二・神 森 昭 和・真 歌・有勢内・目 名・田 原 田原高台・桔 梗・親 和	生産連ビル 3 F
1月25日 (水)	午後5時30分 ~午後8時00分	御 園・農 屋・豊畑一・豊畑二・豊畑三 上豊畑・豊畑振興	豊畑生活館
1月26日 (木)	午後1時30分 ~午後4時00分	春 立・東別一・東別二・東別三	東別生活 センター
	午後5時30分 ~午後8時00分	浦 和・あざみ・東静内・あけぼの・川合一 川合二・川合三・西川一・西川二・西川三	川合生活館

※ご自身の地区で都合のつかない方は、ご都合のつく地区でのご出席をお願い致します。